

第111回 福井 勸さん

バイオマスパワーテクノロジーズ株式会社 林業イノベーション事業部 部長
株式会社玉木材 部長
いなべ市農林商工部農林整備課（地域活性化起業人としていなべ市へ派遣）

聞き手：四日市農林事務所 森林・林業室 林業普及指導員 糸魚川 学

今回登場していただくのは、福井勸（ふくいすすむ）さんです。様々な肩書きをお持ちの福井さんの活動についてお聞きしました。

Q 福井さんは、企業に勤務しながらいなべ市の職員としてもご活躍をされています。これまでのご経歴と現在の具体的な業務内容を教えてください。

A 高校卒業後、県内の林業事業体へ就職しました。その後、肩を痛めたため工場に転職し、療養した後に現在勤務している『バイオマスパワーテクノロジーズ株式会社』に発電所運転員として入社しました。

バイオマス発電においては、主に林業で生産された木材を利用して発電を行っています。しかし、発電者側と林業者側が、お互いの事をあまり知らない事が原因で、事業の運用に多くの無駄が発生していると感じました。自分なら発電と林業の両方を知る立場から最適な運用ができるのではないかと考え、林業事業部を立ち上げました。

現在は、三重県や奈良県で、林業×バイオマス発電の最適運用を目指した『エネルギーの森構想』を実現するべく林業事業に取り組んでいます。

また、地域活性化起業人（※）としていなべ市の『荒廃林整備』に取り組んでいます。



福井 勸さん

Q 昨年からいなべ市内の山林で施業を行ってられますが、いなべ市の山林を管理することになったきっかけは何だったのでしょうか。

A いなべ市は都市に隣接しており、工業系や商業系の大企業の工場が立ち並ぶ、仕事の多い街です。一方で、豊富な森林を有するものの林業の担い手は少なく、長年放置された山林は荒廃し、あちこちに倒木や崩壊地がある状況です。

この状況を改善するべく、いなべ市長から『森林整備の提案をして欲しい』とのお話をいただいたのが始まりになります。



伐採作業も行っています

Q 福井さんは、事務作業だけでなく現場での伐採作業等の経験も豊富です。現場作業員を確保することを課題とする事業体が多い中で、現場作業を行う人材の獲得や育成についてのお考えを教えてください。

A 私たちも求人に力をいれており、少しでも待遇を上げられる様、努力しています。

木材利用はもちろん、山林の貸し出し、クレジット販売、スポンサー契約など山林が生み出す価値を余すことなく活用し、売上に繋げています。ある程度の待遇を提示できれば、林業を希望する人はたくさんいると感じています。

入社してからは、考える力を鍛えていくようにしています。考える力を養うことで、スムーズかつ安全に仕事を覚えていけます。

Q 福井さんの所属されているバイオマスパワーテクノロジー株式会社は木質バイオマス事業を主軸として行っています。地域内の豊富な人工林資源をバイオマスとしてさらに活用するための取組みをお聞かせください。

A バイオマス発電事業は、林業あつての事業ですので、地域林業が新時代の林業へ進化していける仕組みを創っていきたいと考えており、まずは自社で多樹種の育成に取り組んでいます。
自社の取組みが、『こういう林業もあります』と提案できるようなモデルケースと成るべく試行錯誤を重ねています。

Q 目標とされている森林づくりについてのお考えをお聞かせください。

A 全く同じ条件の森林はありません。どのような森にするかは担い手次第です。あらゆる価値を見出せる担い手を育てることが森林づくりにおいて最重要だと考えています。
私も勉強中ですが、アルフレート・メラーの言葉が参考になります。
～仕事の経済的効果は君がよく考え、よく注意するほど高められる。(中略) 最も美しい森林は最も収穫多き森林である。～

Q 最後に、今後の抱負や目標をお願いします。

A バイオマス発電所が手掛ける林業も、いなべ市における荒廃林整備も、まだ始まったばかりです。
よく考え、よく注意し、よく行動し
林業の発展に貢献していける様、精進していきます。



林業×バイオマス発電の最適化を目指して

○取材を終えて

いなべ市は、北勢地域で最も森林率の高い自治体であり、登山に訪れる方も多く、人と森林のかかわりの多い地域です。一方で、森林を整備することのできる技術を持った人は多くなく、整備不足の森林によって、生活や産業に支障がでている場合もあります。このような状況で、福井さんが地域とかかわりを持っていただき、森林整備や伐採木の有効活用が促進されることで、住民の安全の確保や地域資源の活用が図られると感じます。

企業と行政の双方から、荒廃森林の整備と森林の活用に取り組まれている福井さんのご活躍に期待しております。この度は、ありがとうございました。

○Forest Force

林業とバイオマス発電事業を柱として展開する企業グループ。地域内で富を循環させるため、国内木質バイオマスによる発電事業の自立化と木質バイオマス燃料の供給元となる森林の持続可能性確保の両立を行い、持続可能な資源循環型経済の構築を掲げている。

株式会社インテグリティエナジー(再生可能エネルギーに関わるコンサルティング事業)、バイオマスパワーテクノロジー株式会社(木質バイオマス発電事業、林業事業・森林経営)、株式会社玉木材(林業事業・森林経営、森林サービス産業、林業6次産業化・林業研究開発事業)の3社で構成されている。



ForestForce
二次元コード

※地域活性化起業人…三大都市圏にある企業等の社員が、仕事で得た知識を生かして、地方自治体の抱える課題を解決したり、新たな価値を創り出したりすることが目的。

